

送信先 報道各位
送信枚数 本紙を含めて 2 枚
送信日 2022 年 4 月 18 日



日本モンキーセンター × 澤田酒造 コラボ日本酒第 2 弾販売！

平素は当財団の事業につきまして、格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
昨年(2021 年)1 月にご猿(縁)があり、澤田酒造(愛知県常滑市)の日本酒ブランド「白老」で 12 月に「たき火にあたるサル」をイメージしたオリジナル限定ラベル「爛猿」を当園限定で販売しました。今回はその第 2 弾としてモンキーセンターのニシゴリラ「タロウ」が描かれた日本酒を販売します！

■澤田酒造とのご猿(縁)

2021 年 1 月に放送された夕方のニュース番組(澤田酒造の麴室が火事で消失してしまい、再起のために奮闘しているという特集)で、副社長の澤田英敏さんが当園で販売している霊長類骨格手ぬぐいを頭にまいて仕事をしている姿が映っていました。澤田さんがご友人からいただいて愛用してくださっていたそうです。そのニュースがきっかけで、お互い苦境な立場を支えられたらと、モンキーセンターから作業時に使ってくださいと手ぬぐいをお贈りしたり、酒蔵見学に行ったりと交流を深めました。



■第 1 弾コラボ商品

2021 年 10 月に何かコラボができないかと話題に上がり、熱燗に最適な日本酒「からから」でコラボ商品をつくることになりました。冬といえば、モンキーセンターの冬の風物詩「たき火にあたるサル」ですが、このたき火にあたるサルをイメージした赤い背景に黒い文字のラベル「爛猿(かんざる)」を 2021 年 12 月 22 日の冬至から 100 本限定で販売しました。販売当日の朝から買いにきてくださった常連さんもおられ、完売しました。



■今回の第 2 弾コラボ商品

今回は 4 月 20 日で 49 歳となる国内で飼育されているオスで最高齢のニシゴリラ「タロウ」のラベルです。ゴリラの 49 歳はかなり高齢で、40 代最後の年にみんなで祝ってもらえたら嬉しいなという思いを込めています。「萌猿(もえざる)」の「萌」には芽吹くという意味もあります。春は草木が芽吹き、(動物たちにとって)新緑が美味しい季節です。あたたかな陽気の中、つぶらな瞳のタロウがお決まりのポーズでコチラを見ている姿をイメージしました。また、タロウの弟はウクライナ(キーウ)の動物園で暮らしているそうです。モンキーセンターで何かできるわけではありませんが、戦時下の動物たちを考えるきっかけになれば幸いです。

■商品概要

知多半島半田市の酒造好適米夢吟香を全量使用した

純米吟醸「白老」限定ラベル「萌猿(もえざる)」

香りと味のバランスを大切にした白老らしいまみのきいたお酒。

モンキーセンターでは【300mlを 120 本】、【720mlを 36 本】販売します。

今回は澤田酒造のオンラインサイト(<https://hakurou.ocnk.net/>)でも販売します。

澤田酒造で売れた売上の一部はモンキーセンターにご寄附いただき、動物たちのために使わせていただきます！

販売開始日：澤田酒造はタロウの 49 歳の誕生日【2022 年 4 月 20 日(水)】から

モンキーセンターは休園日明けの【2022 年 4 月 21 日(木)】から

※売り切れ次第終了



酒蔵と動物園のご猿(縁)で生まれたコラボ商品を貴社でご紹介いただければ幸いです。
どうぞ宜しくお願いいたします。

本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人日本モンキーセンター 〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林 26

TEL:0568-61-2327 FAX:0568-62-6823 メール:info@j-monkey.jp

問い合わせ・取材申し込み担当:高野、綿貫、江藤、今井